



●日本共産党掛川市議会議員

掛川市塩町 3-7

勝川 しほこ

(22)1325

●日本共産党掛川市政策委員長

掛川市家代 2194-6

大井 正

(23)1848

市議会にもっと市民の声を届けたい 対談4

進む公共施設や学校の統廃合 ～教育にもっとお金を～

★勝川 コスト削減のためにすすむ公共施設の削減が、地方自治法にうたわれた「住民の福祉の増進」をないがしろにしては、何のための自治体なのか、わからなくなりません。

☆大井 住民にとってなくてはならない施設は、“採算性”だけで存廃を決めてはならないと思います。消防署や警察署の採算はマイナス。でも必要不可欠です。

★勝川 公共施設を廃止にした後の再利用は原則として考えない。税金を使った整備はしない、とも言っています。小さい学校は少人数学級で、大きいところはほど学級規模も大きくなってソーシャルディスタンスも難しい。

☆大井 いまある学校を複合化して残せば、地域のサークルや子ども会・老人会の活動拠点、災害時の避難所とでき、別に整備するよりはるかに安上がりです。少子化で学年、学級の児童数が設置基準以下になるなら、むしろそれは教育のグレードが上がると考えるべきです。

★勝川 先進国の中で日本ほど子どもの教育にお金をかけない国は他にありません。「ひとり一台タブレット」ばかりでなく、少人数学級の実現のための人的配置、学校図書館の本の購入や司書配置など未来を担う子どもたちにちゃんとお金を使ってほしいです。



☆大井 日本が戦後復興を成し遂げたのには、終戦直後教育を優先して人を育てた経緯もあつたと思います。残念ながら今は、コロナのワクチンも治療薬もいまだに開発できない科学レベルです。幼児から大学までの教育予算を抜本的に増やすべきです。

【勝川議員の市政報告】

2月定例会で

採択された補正予算

各種見込みの変更に伴って

補正が提出されました

コロナの影響で収入減になっているひとり親家庭への臨時特別給付金が760世帯に増えました。又、当初見込み以上に幼稚園の子どもが減り、保育園の子どもは増加です。2/1現在で保育園待機児童が363人(国定義で82人)います。

会社から解雇された等で社会保険から国保に移り、国保の減免対象になった方が倍増して338件もありました。ワクチン接種のための予算が計上され、準備開始です。

核兵器禁止条約に背を

向けた市議会総務委員会

条約への参加を国に求める

宗教者の方々からの陳情を

全会一致で否決しました

陳情理由の陳述とその後の論議を傍聴した被曝2世の方は、「びっくりした。掛川市議会は不思議な議会だと思った。」とメモールをくれました。非核3原則を持って核のない日本は、この条約に参加したからといって困ることは何もありません。

掛川市は2007年に非核平和都市宣言をしています。全国で1/3を超える自治体が同様の意見書を提出しています。又、この条約は世論調査でも国民多数の支持を得ています。「共産党の議員と一緒に陳情を出しに来たから」と市民を色眼鏡で差別する発言もあつたそうです。あきれられるばかりです。

3/1はビキニデーでした。オンライン集会に参加しながら核兵器廃止への思いを新たにしました。

大井正

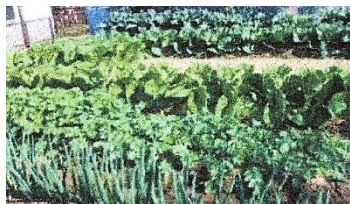
にいろいろ聞いてみよう④



【質問】家庭菜園を定年後に始めたって聞きましたが？

家庭菜園は、自宅と地続きの畑地が草だらけで、やむなく始めたのがきっかけ。すっかりはまって、今では年間40品目以上の野菜を無農薬・有機栽培で育てています。収穫物には愛着がわき時々調理も。家庭菜園は膨大な時間と労力が必要で、定年後に挑戦しよう

と思っていた将棋には、いまだに進めないでいます。



徳育保健センター
横の河津桜



複数議席回復
↓特設コーナー



見て*